

新作オペラ SUN ～サン～

(日本語オペラ 全2幕 上演時間 約140分)

撮影：杉山 未希 (アトリエDRONE)
美術：藤川 純奈 (かさりの社)
いなべ市大安町【鍋坂の里森】にて撮影

2024
3.24 日 13:45開場
14:30開演

いなべ市北勢市民会館さくらホール
〒511-0428 三重県いなべ市北勢町阿下喜3083-1

全席
指定

S席 3,500円
A席 2,500円
こども席 1,000円

*未就学児は同伴者の膝上鑑賞無料。着席の場合は有料。
こども席は小学生以下対象で、A席エリアからのみ選択可能。

作曲/演出 太田 伊都子
音楽監督/指揮 植村 勉
舞台監督 内海 広
舞台美術 藤川 純奈
舞台・照明・音響 (有)グローバルステージ角野 明則
原作 篠原 史紀
企画統括 増野 友香

絵本作家「サン」 増野 友香
預言と歴史を語り継ぐ者「語り部」 近野 賢一
愛のまちの「王子」 岩田 健豊
山の村の娘「ララ」 安田 未央
サン「母」 伊藤 理絵
「精霊の長」 福村 龍馬
「精霊たち」 合唱団【おぺころ】
「太こりの長」 篠原 史紀
「4つの村の村人たち」 公募で集まった市民のみなさま
語り 古居 恵
オーケストラ 桑名弦楽合奏団

練習ピアニスト 内田 孝子
オーケストラ指導 植村 勉
合唱指導 増野 友香
佐藤 周子
福村 龍馬

チケット販売 2024.1.7(日) 発売

teket (テクト：電子チケット販売サービス)
<https://teket.jp/8032/28061>

チケット購入サポート 電子チケット購入にサポートが必要な方はこちらまで。

- ①サポート受付メール (右記 QR コード①) に氏名・お電話番号を記入の上送信
- ②いなおべ公式 LINE アカウントを友だち登録 & メッセージ送信 (右記 QR コード②)
- ③チケットサポート専用電話 090-2917-4296
電話受付：[水]～[日] 11:00～19:00
上記受付時間内でも電話に出られない場合があります。

チケット購入はこちら



①サポート受付メール



②いなおべ公式 LINE



【お客さまへのお願い】 いなおべは「市民の誰もが楽しめるオペラ」を目指しています。このため、年齢による入場制限を設けておりません。この主旨にご賛同ご理解をいただき、公演中に客席の小さいお子さんがぐずったり泣いたりしてしまう場合があっても、どうか温かいお気持ちでご容赦いただければ幸いです。他のお客さまの鑑賞の妨げとなるような場合には、お子さんのご同伴者の方にご配慮をお願いすることがございますが、その際、サポートが必要な方はお近くのスタッフまでお声がけください。なお、公演当日の託児サービスは行っておりませんのでご了承ください。

お問い合わせ いなおべ実行委員会
電話：0594-77-0760 (留守電対応中)
お急ぎの方はいなおべHPの問い合わせフォームまで。
チケットに関するお問い合わせは上記購入サポートまで。

jimdosite.com/
inaope
いなおべHP



いなおべとは

いなおべ(いなベ×弦楽オペラ)プロジェクトは、いなベ発の新しい音楽文化のカタチ「市民が参加し、誰もが楽しめる身近なオペラ」がコンセプト。上演するのはいなベ市をモチーフとした新作オペラ「SUN ～サン～」です。原作はいなベ市在住の篠原史紀さん、作曲は、四日市市在住でいなベ市でも作曲などを教える太田伊都子さん。オペラが初めての方にも親しみやすく、まるで絵本の読み聞かせを聴いているようなストーリーと音楽をどうぞお楽しみください。

特徴①いなベ市がモチーフのオリジナル新作オペラ

物語は主人公サンが「愛のまち」にある「木の村」「花の村」「土の村」「山の村」をめぐるファンタジーで、それぞれ北勢町、藤原町、員弁町、大安町がモチーフ。お祭りのシーンや竜神伝説など、随所にいなべらしさが散りほめられています。

特徴②いなベ市や周辺地域のみなさまの出演

精霊役で出演の合唱団【おべころ】は公募で集まったメンバーで2022年秋に結成。また2023年夏からはソリストや村人役出演者を公募するなど、いなおべにはいなベ市や周辺地域のみなさまがたくさん参加しています。

特徴③いなベの自然素材を活かした舞台美術

いなベの自然素材を活かした舞台美術や小道具を監修するのは、いなベ市出身の庭師、藤川純奈さん。2023年3月のプレコンサートでも好評を博しました。

特徴④弦楽のみの小編成オーケストラ

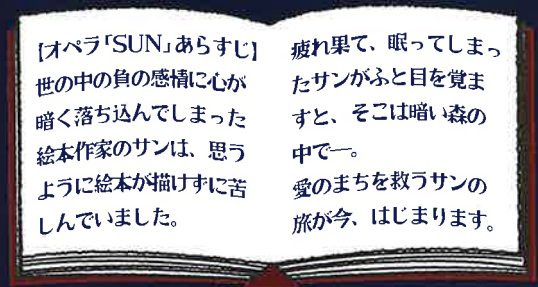
通常のオペラでは珍しい弦楽のみの編成によるオーケストラで、劇場を選ばずどこでも身近な場所でオペラ上演ができます。演奏するのはいなベ市を練習拠点とする桑名弦楽合奏団です。



作曲
太田 伊都子



子供の頃の夢は、作曲家になってオペラを作曲すること。無我夢中で走ってきた時期。悩んで模索し続けた日々。そんな時を経て、私は2人の子供の親になり、気づけば子育てに追われる日々。音楽から1人取り残された焦りや孤独を感じながら、日々1番大切にしてきたこと。それは、暑さ寒さを肌で感じ、風や雨や水の音に耳を澄まし、落ち葉や土や野花に触れて、五感を働かせて、ゆっくりゆっくり流れる時間の中で感性を育むこと。そんな時期を過ごせたことが、回り道だったかもしれませんが、今の自分の音の原点です。いなおべとの出会い、それは、私にとって偶然ではなく必然です。いなおべが、皆様にとって温もりのある優しい「時」となりますように、心を込めて作品を作りました。



音楽監督/指揮
植村 勉



委嘱して一年で書き上げたとは思えない天才ぶり、幾重にも重なる情感の彩を見事なまでに少ない音で印象的に表現されています。覚えやすいテキストでありながら各場面の奥行きをしっかりと描写されていて、指揮者としての責務を強く感じます。精一杯務めさせていただきます。

原作
篠原 史紀



いなベ市在住の劇作家で、演劇経験は約40年ですが初めてオペラの原作を書かせていただきました。市内で音楽でのまちづくりの潮流がある中、市民参加の総合芸術であるオペラの初上演に携われたことに心から感謝します。ぜひ、ご観劇ください。幸いです。

ソプラノ
増野 友香



＜絵本作家サン＞
「私にこのまちが救えるのかしら」
その名の通り、人々の明るい光となる絵本を届けてきたサンでしたが、やさしいがゆえに働つき絵が描けなくなってしまう。悩み、疲れ果てて眠ってしまったサンがふと目を覚ますと、そこは暗い森の中で...

テノール
岩田 健豊



＜愛のまちの王子＞
「私は闇へと 墜ちてゆき」
絵が描けず苦しんでいたサンは、毎晩のように悪夢にうなされます。「世の終わりの旅へさあ行こう」と夢の中でサンを闇の世界へと誘うその声の主とは、かつてやさしく愛のまちを見守ってきた王子でした。

バリトン
近野 賢一



＜語り部＞
「どうかこのまちをお救いください」
サンが迷い込んだ暗い森で出会った「語り部」は、サンを「預言の女」と呼び、4つの村の大切な象徴が消えかけた絵地図「ガイアマップ」を描きなおしてこの世界を救ってくださいとサンに訴えるのでした。

メソソプラノ
伊藤 理絵



＜サン之母＞
「行きなさい！サン 自分を信じて」
語り部からこのまちを救うよう懇願されたサンですが、戸惑いはかり...そんなとき、ふとサンをよぎったのは、やさしい母の歌声でした。母の言葉に背中を押され、サンは勇気をだして一歩踏み出します。

ソプラノ
安田 未央



＜山の村の娘ララ＞
「もう一度 あなたに会えたら」
二幕から登場するララは村のために毎日美しい歌声で祈りを捧げ、村の幸せを願うやさしい娘です。そのララの心の中にはいつも、やさしく働つきやすかった大切な人との一番美しい記憶がありました。

いなおべ実行委員会
委員長
出口 賢治



この「いなおべ」プロジェクトは、いなベ市でオペラを！という、私にとっては大きな挑戦の企画でした。「いなベ市民参加型でいなベ市内の地域・文化を題材としたオリジナルな作品」というコンセプトの元、その一市民として関わらせて頂いています。素晴らしい関係者・スタッフの皆様のおかげで出来上がった「いなベ」を映し出す親しみやすい「いなベ」のオペラを、是非ご体験頂ければと思っています。

主催：いなおべ実行委員会(桑名弦楽合奏団/合唱団【おべころ】)
 委員長：出口 賢治 音楽監督：植村 勉 オーケストラ部門責任者：鷲野 美帆子
 技術 美術部門責任者：藤川 純奈 総務部門責任者：村瀬 貴代 会計部門責任者：鷲野 高明
 声楽部門責任者/企画統括：増野 友香

助成：公益財団法人岡田文化財団、公益財団法人くわしん福祉文化協力基金
 協力：劇団すがお、アトリエ DRONE、kannaworks、ベコリスコーン、マル格 緑香園、(前)山田トラクター
 後援：桑名市、東員町、木曾岬町、菟野町、桑名市教育委員会、東員町教育委員会、木曾岬町教育委員会、菟野町教育委員会、(一社)いなベ市芸術文化協会、桑名市文化協会、員弁ライオンズクラブ、いなベ市商工会、(一社)いなベ市観光協会(順不同)

登場人物紹介